

第2回 鳥取駅周辺再整備に係る四者連携協議会 議事概要

- 1 日 時 令和6年11月15日（金）15時～16時
- 2 場 所 鳥取市役所本庁舎 7階 全員協議会室
- 3 議事内容

【副市長あいさつ】

先日、新聞に昭和53年11月の鳥取駅高架化の記事が出ていた。当時のことをよく覚えており、鳥取駅が近代化され、13階建てのホテルが建設されたことで、街が明るくなったな、変わったなという印象があって、街が動いている、変化しているという高揚感を感じたことを思い出した。

本会議で、若者や子育て世代を対象にしたワークショップについて事務局からの報告があるが、建設的でしっかりした意見が出たということで、そういった若い人たちが期待感と高揚感に包まれての意見であったのだろうと感じている。

街が動くということはそういう効果があるのだろうと思っているので、ぜひともこの取り組みを成功させたいという思いを改めて強くしたところである。

若者や子育て世代、公式ウェブサイトで実施している意見募集など、多くの意見を頂いている。その全てを網羅すると駅周辺のスペースに納まりきらないということもある。本日の会議で四者それぞれの専門分野の中で議論し、方向性を見出したいと考えている。委員の皆様には、忌憚のないご意見、ご提言を賜りたい。

【議題（1）鳥取駅周辺再整備に向けた取組状況について：報告事項】

- 1) 鳥取駅周辺再整備の推進体制
- 2) サウンディング型市場調査
- 3) 鳥取駅周辺交通実態調査（別添1）
- 4) 若者や子育て世代を対象にしたワークショップ
- 5) 鳥取駅周辺リ・デザイン市民フォーラム
- 6) 第1回駅まち空間デザイン検討部会

資料により事務局から説明

【議題（2）整備コンセプトについて：意見交換】

- ・ バード・ハット内道路（市道駅前太平線）の構造変更を併せて検討することとなっており、賑わいが広がっていくという観点では良い計画だと思う一方で、比較的交通量の多い道路であり十分な検討が必要と考える。
- ・ 人を中心とした空間の整備を行うというコンセプトのもと、商店街に繋がる歩行者動線として、また、賑わいを滲み出すような空間整備として、一つの選択肢としてバード・ハットの活用策もあると考える。実態調査結果や、1車線化の妥当性、賑わいが創出できるかという視点を踏まえてまずは実証実験を行う。

- ・ 交通ターミナルが移転した場合の交差点の交通状況について、時間帯ごとのシミュレーションが必要。また、平面横断の設置に関しても、全部を使うのか若干そこに懐を持たせるのか、そのあたりもデータとして集約した方が良い。
- ・ “公共交通の利便性向上”、“人を中心とした空間整備”という 2 つのコンセプトは軸としてしっかり持っておかなければならない。公共交通の利便性向上というコンセプトについては、ワークショップや意見募集では意見が少なくなりがちな内容であるが、軽視してはいけない。
- ・ 駅北側に意識が行きがちであるが、駅南側にも賑わいを滲み出す視点をもたないといけない。駅北側だけでなく、駅南側すなわち駅周辺全体を一つのエリアとしてとらえる視点が必要。
- ・ 平面横断は基本的には良いと思うが、道路管理者、県警、交通事業者からの意見を丁寧に聞いて、検討を進める必要がある。
- ・ もう少し大きめの俯瞰した図面で、駅周辺だけではなくもう少し広い視点で、バスの動きや観光客の動きをみることも必要。
- ・ ウォーカブルなまちづくりを目指す中で、利便性を高めた公共交通の整備が必要。
- ・ 公共交通の利便性向上のため、集約型交通ターミナルの機能をきちんと整備することが議論の出発点の一つであったので、基軸として検討する必要がある。
- ・ 駐車場をたくさん作ってほしいという意見があったが、今後人口減少やバスの自動化が進む中、過剰供給とならないよう検討が必要。

【議題（３）今後の駅まち空間デザイン検討部会で検討してほしい事項：意見交換】

- ・ 駅を出て緑がひろがるような景観を残してほしい。
- ・ 原色を使わないなど、色彩の方向性を示してほしい。
- ・ 鳥取は雨・雪が多い地域であるので、大きな広場をつくるのであれば、雨が降ってもくつろげるような一定規模の屋根が必要。
- ・ 駅には景観条例に基づくような色彩の使い方が必要。
- ・ 広場の使い方は多様化している。雨でもイベントができる屋根、キッチンカーが入りやすい構造、電気設備、水道設備、雨の日でも子供がベンチでくつろいだり、遊んだりできるなどの工夫を期待する。
- ・ あまり奇抜な整備は必要ないと思う。鳥取市の玄関口であるので、整備する際の基本となるような共通の色彩色調を考えられるとよい。最近では八頭町で国道沿いを“八頭ブラウン”で統一しようという動きがある。色彩色調に限った話ではなく、なにか鳥取のランドマークとなるようなものが考えられるとよい。
- ・ 他都市の模倣ではなく、“鳥取モデル”をつくりたい。
- ・ JR の高架下にバスを通すという大きな課題がある。難しい課題はあるが実現できるよう協議を続ける。
- ・ 駅のみが賑わうのではなく、賑わいが駅南北に滲み出していくという視点をもった整備を考えて頂きたい。
- ・ 駅南のファーストフード店に夕方、多くの高校生の姿が見られるし、周辺の公園でも高校生の姿が見られる。駅南についても十分意識した計画としたい。

【閉 会】

- ・ 次回の開催については、進捗状況に応じて改めてご案内する。
- ・ 本日の会議をこれで閉会する。ありがとうございました。